

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年12月28日

事業所名：Dream

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	平日は2部制で受け入れている為、スペースの確保は出来ているが、長期休暇時には定員10名が同時に活動をする為、各部屋を状況に合わせて活動を行っています。	はい…100% どちらともいえない…% いいえ…0%	・保護者の迎時や面談の際には、事業所を案内や見学するようにしています。今後は保護者の交流会などを行い事業所の理解を深めて行きたいと思います。
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	定員に対して、人員加算を1名つけて常時サービス提供時間は指導員を3名配置していますが、訓練や長期休暇中などは丁寧な関りが難しい時や手薄な状況を職員は感じている時もあります。	はい…83% どちらともいえない…17% いいえ…0% 保護者が把握しておらずわかりません	人員配置の適正化は元論、より良い支援を行えるよう、テ一無でかかわることの重要性を感じています。職員も研鑽を深めながら取り組んでいきます。
	3 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関などの手すりや階段からの転落防止などの設備は整っていませんが、現状の通所児童の状況から不都合や不便は感じられません。	はい…67% どちらともいえない…33% いいえ…0%	各部屋の提示を行い過ごしやすい環境設定の努めています。階段の手すりはあるものの、足下の滑り止めrの設置には至っていません。必要の可否についても検討をしています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	療育室を始め、学習室や面談室など用途に合わせた活動スペースを確保しながら活動をおこなっています。	今回のアンケートでは聞き取りませんでした	今後も清掃を含め、心地よく過ごせる環境保持に努めていきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の打ち合わせやモニタリング向けの職員会議には、関わる職員からの意見などを反映させながら支援計画に盛り込んでいます。	/	職員全員が、活動計画や実施振り返りを行うことで、課題の抽出や今後の取り組みに活かせるよう今後も継続して取り組んでいきます
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価まだ実施できていません。	/	第3者評価を来年度は実施できるように努めてまいります
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部、外部研修には出来る限り日程を調整しながら参加出来る機会を設けています	/	月1回程度、全体、事業所内研修を行い、外部より案内のあった研修に関しても、時間の調整を行いながら参加をしています。今後も資質向上に向けて研修会等の学びの機会を確保していきます
適切な	1 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス支援計画が作成されているか	ケース会議等により、個別においては最低年2回以上は分析と課題抽出を行い、保護者との面談をしながら個別支援計画を作成しています。	はい…92% どちらともいえない…8% いいえ…0%	支援計画に基づく支援を行い、個別記録によりモニタリングを重ね、4~5ヶ月頃に集約、ケース会議を行い、保護者に報告、今後の支援についてニーズを抽出し支援計画の策定、承認、支援開始の手順で行っています。支援期間内の変更も保護者との協議で行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
支援の提供	2 活動プログラムが固定化しないような工夫されているか	月案、週案に基づいてプログラムを実施し、特に週ごとにはリーダーを中心に工夫しながら行っています。	はい…92% どちらともいえない…8% いいえ…0%	個別・集団を含め季節や事象を踏まえながら、メリハリのあるプログラムの実施に努めます
	3 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は実施していないが、今後は検討していきたいと思います	はい…33% どちらともいえない…58% いいえ…8% ・わかりません ・それは余り望まないです	障害のない子ども達との交流については、保護者から望まない声をいただくこともあり積極的に行うことはありませんが、地域資源を活用しながら理解を深める為に大人の方々との交流は行っています。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別記録シートに、目標・内容・留意点を明記し職員は常に確認を行いながら支援を行っています		適切な支援をいつでも確認できるよう、個別記録シートに支援計画の内容を可視化して取り組んでいます。今後もよりよく内容を充実させながら取り組んでいきます
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	指導員リーダーを中心にミーティング時などを活用して具体的にプログラムの立案を行っています。活動ごとの計画書及び実績報告で、課題や改善点を残しながら次回の活動につなげています。		今後も年間行事予定に沿って、内容を充実させながら、方向性を共有し到達目標を確認しながら取り組んでいきます
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と長期休暇では継続的なプログラム活動を中心に、平日では学ぶ機会の少ない体験活動を子どもたちの意見を実現できるように展開しています。どちらにおいても自立に向けた基礎学習は取り組んでいます。		平日や長期休暇、学校休業日ではサービス提供時間が異なるので、時間帯に応じて多様なプログラムを提案していきます
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	SSTに関しては、月単位でテーマを決めて行い、クッキングや買い物学習など生活に繋がる学習など体験活動や実践に繋がるロールプレイなどを計画的に行っています。		今後も固定化しないよう、楽しみながら取り組めるプログラムの実施を心がけます
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には役割分担と配慮のいる児童への対応などを打ち合わせを行って児童を受け入れる準備をして望んでいます。		今後も継続して行っていきます
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	業務の最後には、必ずその日の良かった事や改善点などを振り返り、ヒヤリハットなどの抽出などを日報に記録し共有しています。日報は月毎に整理し、職員は必要に応じて確認できるようにしています		今後も活用しやすい書式を改善しな整えながら取り組んでいきます	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	関わった職員がその日の状況や活動内容などをピックアップして個別記録シートに書いて、モニタリングやケース会議、支援計画作成に活用しています。	今後とも継続して行っていきます
	11	定期的なモニタリングに実施及び児童発達支援計画または放課後等デイサービスの計画に見直し	支援計画見直しの1ヶ月前を目処にモニタリングやケース会議を行い保護者に報告を行い、ご本人の今後の方向性と学校やご家庭での現状についての確認を行いニーズを盛り込んだ支援計画の策定を行っています。	今後とも定期的な見直しとともに、ご本人及びご家族の思いが実現できるよう、きめ細かい計画を目指します
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が主に参加しています。担当者会議での情報は、職員で共有する様にしています。	今後は、児童指導員も参加しながら共有を行い、サービスの向上に努めます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議の開催参加や必要に応じてケース会議の提案などを関係事業所や学校とは行っています。日々の情報共有に関しては学校行事や登下校の情報、送迎時に対象児童の様子などを伺うなど職員で共有しています。	今後ともご家族・学校・関連機関・相談支援事業所などと連携を深めながら、支援の共有を行います
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	ご家族や相談支援専門員などの要望に沿えるように対応しています	今後ともご家族の意向を基に円滑な移行が出来るように勤めていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	強度行動障害支援員要請講座をはじめとする、県や市からの研修、その他自主研修を含めて、職員に周知し受講を勧めています。	案内のあった研修会などは、職員に周知し出来り学びに機会を継続して提供していきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施していないが、今後は検討していきたいと思います	はい…33% どちらともいえない…58% いいえ…8% ・わかりません ・それは余り望まないです	障害のない子ども達との交流については、保護者から望まない声をいただくこともあり積極的にを行うことはありませんが、地域資源を活用しながら理解を深める為に大人の方々との交流は行っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に開かれた事業の運営には至っていませんが、近隣の住人の方々や、自治会の皆様とは交流しています。又自立支援者協議会や福祉センターの事業、万灯祭などの地域活動には参加をしています	今回のアンケートでは聞き取りませんでした	学習会や研修会の公開には至りませんが、近隣の方々との交流会などは実施してきました。地域の活動には今後も積極的に参加をしていきます
保護者への説明責・連	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	入所契約時に、負担額及び実費については書面での説明を行っています。今年度は実費負担一覧を作成し保護者の皆様へ周知いたしました。	はい…92% どちらともいえない…4% 無回答…4% ・後からしていただきました。	今後もわかりやすい、丁寧な説明を心がけていきます
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	サービス提供前に計画を作成し、保護者の同意を得て提供を始めています。事前アセスメントやモニタリング報告を通して確認しながら支援計画を作成しています。	今回のアンケートでは聞き取りませんでした	今後も継続して取り組んでいきます
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談時だけではなく、困ったことや、相談事は都度聞く機会を設け随時おこなっています	はい…54% どちらともいえない…42% 無回答…4%	保護者の皆様との情報共有を密に行うことと、学びの機会などを提供できるように考慮します
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にその日の様子を伝えたり、変化があったときには保護者からの連絡に担当者が対応しています。連絡帳でのやり取りも行っています。	はい…96% どちらともいえない…4% いいえ…0%	今後も保護者との共通理解が進められるよう取り組んでいきます
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	困ったことや、相談事は都度聞く機会を設け随時おこなっています	はい…54% どちらともいえない…42% 無回答…4%	更に保護者の皆様と向き合い相談をしやすい環境設定を実践します
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年1回程度ですが、保護者会を開催し、前年の活動報告や今年度の活動方針について公開する機軸を設けています	はい…54% どちらともいえない…42% 無回答…4% ・あったけれども私の都合で参加できていない	事業所単独の保護者会の定期開催を検討いたします

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
携 支 援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談マニュアルを策定し、苦情やご意見があった際には、職員同士連携を図りながら迅速に対応するようにしています	はい…71% どちらともいえない…21% 無回答…8%	迅速な対応が更に出来るよう、研修などを重ね環境を整えていきます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援の際には言語支援だけではなく絵カード・ジェスチャー・筆談など視覚的に理解しやすい方法で意思の疎通や伝達を行っています。保護者への連絡は、連絡帳や月刊のお便り及び必要に応じた電話対応などを行っています。	はい…96% どちらともいえない…0% 無回答…4%	今後も、意思疎通の方法を模索しながら取り組んでいきます
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月1回のお便りを発行し、写真や活動内容の報告や今後の行事予定等必要書類などについても掲載を行い情報発信を行っています。	はい…92% どちらともいえない…8% いいえ…0%	今後も内容を充実させながら、取り組んでいきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人がされる書類は鍵つきの書庫に保管しています。情報の開示については契約時に保護者から了承をいただいています。	はい…88% どちらともいえない…12% いいえ…0% ・入所して直でしたので余りされていなくて、伝えてから対処していただいた。	写真等の掲載や扱いに関しては、今後整備を進めていきます
非 常 時 等 の 対	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル策定は行っています。また職員研修の場なども受け周知を行っていますが、保護者への発信には現在に至っていません。	はい…88% どちらともいえない…12% いいえ…0%	周知に向けた取り組みを行います
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害や他防災の意識付けを防災週間として9月・1月に災害に対する予備知識の導入や実践として避難訓練(火災・地震・水害など)を行っています。また長期休暇中の8月には児童・職員共に加古川防災センターで実技体験を行いました。また、夏休みには市の危機管理室から出前講座を行い防犯に対する学びも行いました実施後には連絡帳にて保護者にはお伝えしています	はい…83% どちらともいえない…17% いいえ…0%	今後も様々な防災、防犯を想定した訓練を取り組んでいきます
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修などに参加することを始め、事業所内では日々のミーティング及び振り返りの場で意識の統一を図る様にしています。		社内・社外研修に参加し情報の共有を行いながら資質の共有を目指します

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束に関して該当児童がいないので支援計画には記載していません。	今後の課題として該当児童がいる時には、事前に会議で課題の収集及び対応策を検討し、保護者へ説明・同意を得る様に準備をしていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や保護者との面談などで定期的にアレルギー他の有無・薬の飲み合わせ・対応策等確認しています。また保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。	今後も安全に配慮しながら取り組んでいきます
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合には振り返りやミーティングを共有の場としています。またその場で改善策も考え記載しファイリングしています。	ヒヤリハットの事例集作成に向けて準備を進めていきます
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	はい…92% どちらともいえない…8% いいえ…0% ・行き渋りはあるが、行ったら楽しかったと言って帰ってくる ・すごく楽しみにしています。利用させていただいてよかったです	真剣な中でもワクワク・ドキドキを感じることが出来るメリハリのある支援プログラムを提供できるように取り組んでいきます
	2	事業所の支援に満足しているか	はい…100% どちらともいえない…0% いいえ…0%	今後も利用者・保護者に寄り添った支援を心がけていきます